

2022年8月24日
 パーソルプロセス&テクノロジー株式会社

江東区立豊洲北小学校の全教員を対象に「プログラミング教育研修」を実施

～「教育現場のIT人材不足」「ICT教育支援の格差」など教育現場の課題に寄り添う～

総合人材サービス・パーソルグループのパーソルプロセス&テクノロジー株式会社（以下、パーソルP&T）では、8月24日（水）江東区立豊洲北小学校の全教員を対象に「プログラミング教育研修」を実施しました。

パーソルP&Tでは地域貢献活動の一環として、これまでに教育現場の課題に寄り添ったICT教育支援や子供たちがテクノロジーを身近に体感できる機会提供を行ってきました。本社近隣の小学校及び地域の子供たちに、無料でのプログラミング授業の実施や、コロナ禍で出前授業が実施できなかった際には「プログラミング教育マニュアル」を全国の小学校へ無償提供し、教育現場のIT人材不足や自治体ごとのICT教育支援の格差など、教育現場が抱える課題に対する支援を実施しています。

2020年度よりプログラミング教育が必修化となりましたが、教育現場においては、教材含め授業の準備が間に合っていないことや、内容理解に十分な時間を確保することが難しいといった課題が、今なお続いている現状です。今回豊洲北小学校からの支援要請を受け、全教員を対象に「プログラミング教育研修」を実施しました。

研修当日は、前半はプログラミング必修科目である6年生の理科の単元「電気のしくみ」の授業について、プログラミング学習教材「MESH」の使い方から実践までを解説し、全学年の教員に体験していただきました。また後半は、2020年に全国の小学校に無償提供した「プログラミング教育マニュアル」を基に、各学年の教員がグループに分かれて模擬授業を行い、実際にプログラミングに触れていただくことで、9月以降の授業のイメージを膨らませられるような研修を行いました。



今後も豊洲北小学校に対して、9月1日（木）の防災の日に「防災×ICT教育」として、6年生児童を対象に「ドローンを活用した防災教室」の出前授業を行います。当日は災害現場を想定し、児童が実際にドローンを操縦し、要救助者になった教員をドローンに搭載されたカメラで確認するなどの体験を実施予定です。

パーソルP&Tでは、テクノロジーを活用して様々な社会課題を解決すること、また、未来を支えるデジタル人材育成に貢献することを目的に、今後も現場の課題に寄り添ったICT支援や、子供たちがテクノロジーを身近に体感できる活動を推進していきます。

■パーソルプロセス&テクノロジー株式会社について <<https://www.persol-pt.co.jp/>>

パーソルプロセス&テクノロジー株式会社は、人・プロセスデザイン・テクノロジーの力で、人と組織の生産性を高めることを使命としています。

お客様の事業課題に応じたコンサルティングやシステム開発、アウトソーシングのほか、人とテクノロジーが共存できる社会を目指し、RPAやAIなどを駆使した最新のテクノロジーやサービスを提供してまいります。

パーソルグループは、「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに、人と組織にかかわる多様な事業を通じて、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献していきます。